

明日に向かって

ともに創る

96

大船渡市長 戸田公明

地球温暖化により災害リスクが高まっています！

オーストラリアで昨年6月から山林火災が発生し、今年初めにかけて南東地区を中心に東海岸・北海岸に延焼が拡大し、制御不能になっているとの報道がありました。

最新のニュースでは、全土で1,000万ha超の規模となり、10億匹を超える動物が焼死したと推計されています。1,000万haを日本の場合で考えますと、日本の森林面積約26万kmのうち、約4割の10万kmが消失したことになります。

わずか数カ月でこれだけの規模に拡大したことは、温暖化の影響とはいえ、とてつもないことでしょうか考えられません。

日本でも昨年10月、台風第19号により長野・神奈川・福島・宮城・岩手など、各県に甚大な豪雨災害が発生し、これまでの常識を超えた被害になりつつあると感じた方々も多くおられることと思います。

高まっています！

気候が毎年厳しくなりつつある現在、防災への対応力を向上させて行くことが一層重要です。大震災後は、毎年津波防災訓練を行ってきましたが、大津波は数十年に一度、巨大津波は数百年に一度の頻度で発生します。また、台風については、毎年日本に上陸して各地に甚大な被害をもたらし、コースによってはこの地域が大きな被害を受けるリスクがあります。

このようなことから、今年からは豪雨災害訓練を行う予定で準備を進めております。

ところで、日本でオーストラリアと同様の山林火災が発生するかどうかを考えてみます。

オーストラリアは額縁国家と称され、国土の縁辺部が森林地帯、中央部が乾燥地帯です。さらに人口密度が極めて低く(2.8人/km)、都市より遠隔地での火災発生のため、消防能力を超えた大火災に拡大して

いったものと考えられます。

一方で、日本は人口密度が高く(334人/km)、消防団が組織されている自治体間の距離が近く、火災発生の際には近距離で対応しやすく、乾燥地帯が無いことなどを考慮すれば、オーストラリアのような制御不能な山林火災は発生しにくいものと考えられます。

しかしながら、海・湖から相対的に遠い山林では、強風時に火災が発生すると、大きなリスクになるものと考えられます。

そのような意味から、今後は山林火災防災訓練についても研究する必要性を感じているところです。

消防出初式の日の夜、大船渡町山林内の一軒家で火災が発生しました。幸い、通報が早かったことと、消防当局の懸命な努力(365日・24時間災害監視、ホース接続1km以上、背負い式消火器具(ジェットシューター)使用)と、無風であったため、延焼の拡大が防がれました。

このように、災害発生リスクが年々高まりつつあります。今後とも、国・県・関係機関と連携しながら防災・災害訓練の充実を注いでまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

大船渡市プレミアム付商品券の 販売は2月28日までです



大船渡市プレミアム付商品券の販売は、2月28日までです。

対象となる人には、事前に市から購入引換券が送付されていますので、購入を希望する人は、お早めに手続きをしてください。

■商品券の概要および購入方法

▷商品券の内容＝プレミアム分1,000円を加えた1冊5,000円分の商品券を、4,000円で販売。対象者1人あたり5冊(25,000円分、販売額20,000円)まで購入できます。

▷購入場所＝大船渡商工会議所
(受付時間＝平日午前9時～午後5時)

▷持参するもの＝大船渡市プレミアム付商品券
購入引換券、購入代金、身分証明書(運転免許証、健康保険証、社員証、学生証など)

▷商品券の販売期限＝2月28日(金)

▷商品券の利用期限＝3月15日(日)

▷商品券の利用可能店舗

市ホームページのほか、商品券購入時に同封される加盟店一覧をご覧ください。

▷問い合わせ先

市プレミアム付商品券
商工課(☎内線109・111) ホームページQRコード

